

# 2020年度公益財団法人日本芸術協会奨学金 第1回活動報告書

村上祐介 (indust-film、映画制作)

昨年日本芸術センター第11回映像グランプリで、  
映画「あなたとの距離について」がスペシャルリマークを頂き、  
その後奨学金対象者に選んでいただいた事、活動を続けていく中で  
とても励みになりました。ありがとうございます。  
こうして第1回活動報告を提出させて頂ける事がとても嬉しいです。

## <はじめてのクラウドファンディングに挑戦しました>

The screenshot shows a crowdfunding campaign for the film "I need you" (あなたとの距離について). The campaign is titled "小田原、愛知でコンペティション上映決定!" (Competition screening decided in Odawara, Aichi!) and "映画「あなたとの距離について」の映画祭参加費用ならびに出品費用のお願い" (Request for festival participation and production costs for the film "I need you"). The campaign is located in Tokyo (東京都) and is in Japanese (日本語). The main image shows a scene from the film with a play button overlay. The text "あなたとの距離について" is written vertically on the left, and "みんなを救いたい気持ちって どうやって解決してやるんだろう" is written vertically on the right. The campaign statistics show 9 collectors, a goal of 205,000 yen, and 0 days remaining. A blue button with a checkmark and the word "達成" (Achieved) is visible. Below the button, it says "このプロジェクトは、2020年1月10日22時54分に終了しました。" (This project ended on January 10, 2020, at 22:54). At the bottom, there are icons for "シェア" (Share), "ツイート" (Tweet), and "ライトリレーション" (Light Relation).

映画「あなたとの距離について」は映像グランプリでのスペシャルリマークを皮切りに、小田原での「Seisho Cinema Fes」、愛知県豊橋市の「ええじゃないか とよはし映画祭」、愛知県大府市の「おおぶ映画祭」と続けて公式上映にセレクトされました。それぞれの映画祭にキャストと共に参加する為、初めてクラウドファンディングに挑戦しました。目標金額は30万円の設定です。僕たちは東京を拠点に活動しているので、その他の都市で上映の機会が出来る事はとても嬉しい事ですが、反面、映画祭へ参加する為の交通費や宿泊費の負担が重くのしかかります。

映画祭での上映はある意味、参加してくれたキャストの皆さんに晴れの舞台を用意出来る場でもあります。

ですが、そもそも僕たちのような小さな規模の映画作りでは、キャストの交通費や宿泊費を負担する予算がありません。

そこでクラウドファンディングを通じての寄付を募る事にしました。

映画祭への参加は、東京以外の都市に、小さな映画を、キャストの生の声とともに届ける事が出来るチャンスなので、クラウドファンディングでの募集も意味があるのではと思いました。

寄付頂いた方への特典として、「あなたとの距離について」のオンライン視聴や映画祭参加レポート動画などを用意しました。

オンライン視聴については、映画祭に來れない遠方の方でも、観て頂ける点が良いと思いますし、同じく映画祭参加レポート動画も

映画好きな方は地方の映画祭の様子に触れる事が出来るので、他では見る事が出来ない特典になったのではと思っています。

まずは小田原の映画祭Seisho Cinema Fesに参加してきました。



「あなたとの距離について」主演の二人、折笠慎也さん、平良千春さんも映画祭に参加して頂き、レポート動画作成にご協力頂きました。



小田原Seisho Cinema Fesの動画レポートはこちらです  
<https://www.indust-film.com/members/>

(メンバーになっていただく事でご覧いただけます。)

小田原Seisho Cinema Feは新型コロナが拡大する直前で、開催出来るのか、とても微妙な時期でした（2月の終わりです）。それでも開催を決断され、いろいろな手配をされた主催者のみなさんには本当に感謝しています。

参加する事が出来て、やっぱり映画祭はいいなあと思いました。大きなスクリーンで上映してもらえる事、そして作品を観てもらえる事、映画祭は制作者として、とても大切な経験が出来る場所だと思います。

新型コロナの影響で「おおぶ映画祭」は9/19に延期、「とよはし映画祭」も時期未定で延期となりました。映画祭に参加する事を目的としたクラウドファンディングなので、映画祭が延期になり、思うように告知が出来ませんでした。ありがたい事に205,000円のご寄付が集まりました。

初めてのチャレンジで分からない事だらけでした。始める前は怖かったです。全く反応がないかもしれないし、こんな小さな映画で大それたチャレンジかなと思いました。だけど、チャレンジして本当に良かったです。クラウドファンディングは寄付を募るだけではなく、自分たちの活動や出てくれたキャスト、作品をより多くの人に知ってもらうツールとしても有効なのではと考えています。今回9人の方にご支援を頂きましたが、今後もさらに多くの方に応援して頂けるよう、よりよい活動、作品創りに努力したいと思います。

クラウドファンディングのページ MOTION GALLERY  
<https://motion-gallery.net/projects/ineedyou>



支援頂いた方へ送るDVDにサインを入れている折笠慎也さん。



## <新作ドラマ「portrait(s)」がスタートしました>



今年に入ってから新作の準備を少しずつ始め、4月から本格的に動き出そうとしていましたが、新型コロナウイルスの影響で自粛となり、6月ようやく本格的に動き始めました。

新作「portrait(s)ポートレイツ」は、セクシャルマイノリティー（LGBT）の多様な人が登場する日常生活を大切にしたい全10話の連続ドラマをYOUTUBEで公開していき、最終的には10話を再編集した形での映画版も作ろうというものです。

近年、セクシャルマイノリティー（LGBT）の存在は少しずつ認知が進んでいると思います。日本でもテレビや映画で、セクシャルマイノリティーを扱う作品が増えてきました。それはとても良い事だと思いますが、まだまだ作品数が多いとは言えないと思います。海外ではインディペンデントなレベルでたくさんの、多様な作品があり、多様な価値観を提示する作品に出会える機会が多くあります。

私たちはたとえ小さな映画でも、多様な意見や価値観を反映した映画は文化の豊かさにとって必要なものだとして活動してきました。今の日本の東京でこの作品を作ることで、多様な価値観を提示するひとつになれたらと思っています。

そして、どこにでもあるありふれた日常生活を覗き見してもらい、今までわからなかった存在であるセクシャルマイノリティー（LGBT）を身近に感じてもらえたり、また若い当事者にとってはある種のロールモデルのようなものをドラマを通じて感じ取って観てもらえたらと思っています。

そのような作品を作るべく、11月の第1話公開を目指して現在進行しています。キャストは主にツイッターで募集をしており、遠くは神戸から参加してくれるキャストもいます。年代も50代から10代までと幅広く、現在8名の主要キャストが決まっています。

6月20日に応募頂いたキャストの方々と顔合わせをしました。そして、持ってきて頂いた服を合わせてもらい、衣装決めをしました。その後、テスト用の脚本を使って、演技の感触を観る為に台詞を読んでもらったり、設定だけ与えて即興でやってもらったりしました。



その時の映像です

<https://www.indust-film.com/members/>

(メンバーになっていただく事でご覧いただけます。)



新型コロナウイルスの影響は続いています  
が、スタッフ2名という小規模の制作だから  
こそ、フットワーク軽く動ける強みを活か  
せると思っています。

## <その他>

去年10月に撮影したTaiwan LGBT Pride 2019の動画を編集しました。

<https://youtu.be/KWtlu3NLbTI>



新作「portrait(s)」の為に新しいレンズのテストを兼ねて撮影をし、編集しました。

<https://youtu.be/zzBucdiadBs>



次の活動報告では、

9月に愛知県大府市で行われる「おおぶ映画祭」に参加予定ですので、

その報告と、

新作「portrait(s)」の進捗状況を報告出来れば嬉しいです。

